

# 「せんたく」発足、政権交代

## 21世紀臨調〈6〉

### ■首長との連携推進

「新発足」した21世紀臨調は、首長との連携による政治改革運動も推進。共同代表・北川正恭の呼びかけによって03年7月、知事・市長連合会議（後に「知事・市町村長連合会（議）」が知事13人、市

長10人で組織された（座長＝岩手県知事・増田寛也）。

同会議の6県知事は同年8月27日、第1回提言「国庫補助負担金の見直しに関する緊急提言」を公表。首長の



「せんたく」「せんたく議連」の合同発足総会（2008年3月3日）。

名で補助金不要リストの具体名を公表。その後、「提言・実践首長会」（会長＝新潟県長岡市長・森民夫）と協力しながら最終提言（07年5月18日）まで13回の提言を公表した。

■日本を洗濯（選択）する  
08年3月3日、21世紀臨調を母体として「地域・生活者視点で日本を洗濯（選択）する国民連合」（通称「せんたく」）が発足した。

せんたくは、北川正恭を代表に、21世紀臨調メンバーと京都府知事・山田啓二、長岡市長・森民夫を世話人とする121人の自治体関係者の集合体。知事・市町村長連合会議を運動体として発展させたものであった。

せんたくの呼びかけに応え、せんたくと二人三脚で活動する超党派の国会議員集団「せんたく議員連合」（通称「せんたく議連」）も発足。107人の国会議員が参加を表明し、議連の共同代表には河村建夫（自民党）と野田佳彦（民主党）が就任した。

9月28日、せんたくに賛同する首長、地方議員有志329人は、地域・生活者起点で日本を変革するための指針をとりまとめた「地方せんたく八策」を公表した。翌09年4月20日には、せんたくとせんたく議連が「せんたく八策」を決議。来る総選挙を出発点として、この国をいま一度洗濯することを誓い合うものだった。

09年8月30日、第45回衆議院議員選挙が行われた。民主党が308議席を獲得し、民主党政権が誕生。戦後初めての総選挙による政権交代であった。

（文中・敬称略）

【参考文献】『平成デモクラシー』（講談社、2013年）

JPC 70th

クロニクル

第38回

chronicle